

令和6年度 学校教育目標等

北海道静内農業高等学校

1 学校教育目標

- ・自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育てる。
- ・自らを律し、他者と協調し、人権を尊重する豊かな人間性を育てる。

2 スクール・ミッション

農業の専門的な知識・技術を習得し、自ら主体となって地域農業が抱える諸課題を解決する能力や地域農業の創造と発展に協働的に取り組む態度を育成します。

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針

- 1 農業に関する専門的な知識や技術を身に付け地域社会に貢献する力を育成します。
- 2 課題解決に向け、周りの人と協力し、粘り強く取り組む力を育成します。
- 3 グローバル社会を生き抜くために必要な知識・技術を定着させ、自ら学び、主体的に挑戦する力を育成します。

○教育課程の編成及び実施に関する方針

- 1 地域・企業・大学等と連携し、専門的な知識と技術の確実な定着を図ります。
- 2 生徒一人ひとりの多様な進路希望に応じた選択教科・科目の設定や教科等横断的な取り組みを通じた深い学びの充実を図ります。
- 3 実習・実験等の実践的な学習を重視し、「わかる授業」を通じた「確かな学力」の定着を図ります。

○入学者の受入れに関する方針

- 1 6次産業化や地域活性化に関心を持ち、意欲的に取り組む生徒を募集します。
- 2 多様な資格にチャレンジし、キャリアアップの実現に励む生徒を募集します。
- 3 明確な目的意識を持ち、その実現に向けて努力する生徒を募集します。

4 指導上の重点事項

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の個性・能力に応じた指導をとおして、主体的に学ぶ意欲・態度の育成に努める。 2 基本的な生活習慣を身に付けさせ、自ら律する規範意識の確立に努める。 3 他者を尊重し、思いやる心をとおして、自ら社会に貢献する態度の育成に努める。 4 キャリア教育を充実させ、社会の変化に対応して、たくましく生きる力の育成に努める。 5 教職員が効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革の推進に努める。
学習指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 わかる授業の実現を目指し、生徒の実態に即した学習指導の工夫・改善を行い、生徒が主体的に学習に取り組む態度の育成に努める。 2 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行い、基礎・基本となる知識や技能の定着を図るとともに、思考・判断・表現の育成に努める。 3 学習評価の改善・充実を図り、生徒の授業満足度の向上を図るとともに、学校と家庭の連携を密に取り、学習習慣の定着に努める。 4 学校農場、ICT等を活用した学習指導の工夫・改善に努める。 5 地域や関係機関・企業等との連携を図り、国際理解教育や環境に配慮した農業教育など、時代の要請に対応した人材育成の推進に努める。
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣や授業規律を確立し、ルールやマナーを守る規範意識や倫理観の育成に努める。 2 相談活動等を充実させ、生徒理解を基盤とし、多様な生徒の状況に応じた生徒指導の推進に努める。 3 「いじめ防止基本方針」の検証、見直し及びいじめ防止に関する取組の充実に努めるとともに、トラブル発生時の適切な初期対応等に努める。 4 学校農業クラブ・生徒会等活動の活性化を促し、生徒が自主的かつ意欲的に取り組む態度の育成に努める。 5 学校・家庭・地域社会が密接に連携し、生徒の多様な行動変化に早期発見・早期対応し、問題行動の未然防止に努める。
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 体系的・系統的なキャリア教育を推進し、望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、生徒が主体的に進路選択、自己実現を図るよう支援に努める。 2 生徒一人一人の能力・適性を正しく捉え、進路実現に向けたガイダンス機能の充実に努める。 3 早期に進路目標を持たせ、各種資格取得等に積極的にチャレンジする態度の育成に努める。 4 学年毎の系統的なキャリア教育計画を作成し、個別面談を繰り返し行うなど、個に応じた進路指導の充実に努める。 5 地域社会や地域産業と密に連携し、地域の期待に応える産業人の育成に努める。
健康・安全指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 体力の向上や生活習慣の改善に向けた取組の充実に努め、生徒の健康の増進に努める。 2 関係機関と連携し、薬物乱用防止教育、性やネットトラブルに関する教育、交通安全、防犯・防災教育の充実に努め、自ら事件・事故等の危機から身を守る能力の育成に努める。 3 自然環境の保全及び教育環境の美化、地域の奉仕体験活動を積極的に取り入れ、情操教育の推進に努める。 4 緊急時や非常時における危機管理体制を確立し、生徒の安全確保に努める。 5 特別支援教育の理解、教師のカウンセリング能力の向上等を通して、特別な支援が必要な生徒に対する指導の充実に努める。